

静岡県賀茂危機管理庁舎



平成 30 年 4 月

静岡県賀茂地域局

1 要旨

下田総合庁舎は第4次地震被害想定レベル2津波浸水域内にあることから、賀茂方面本部として危機管理機能を高台へ移転する。移転先となる下田市敷根は、災害時の拠点ヘリポートや下田警察署、下田消防本部、下田海上保安部の活動拠点内にあり、この優位な立地を利用して、県の防災拠点となる施設を整備し、賀茂地域の防災機能の強化を図る。

2 施設の名称

「賀茂危機管理庁舎」（行政目的を明示。組織変更があっても使用可能な名称とした。）

3 賀茂危機管理庁舎の供用開始時期

平成30年度当初から供用開始した。

[施設概要]

所在地	下田市敷根765-15
建物概要	地上4階地下1階建 (延べ床約1,300㎡)
入居機関	副知事[伊豆半島担当] 賀茂地域局(約20名) 他



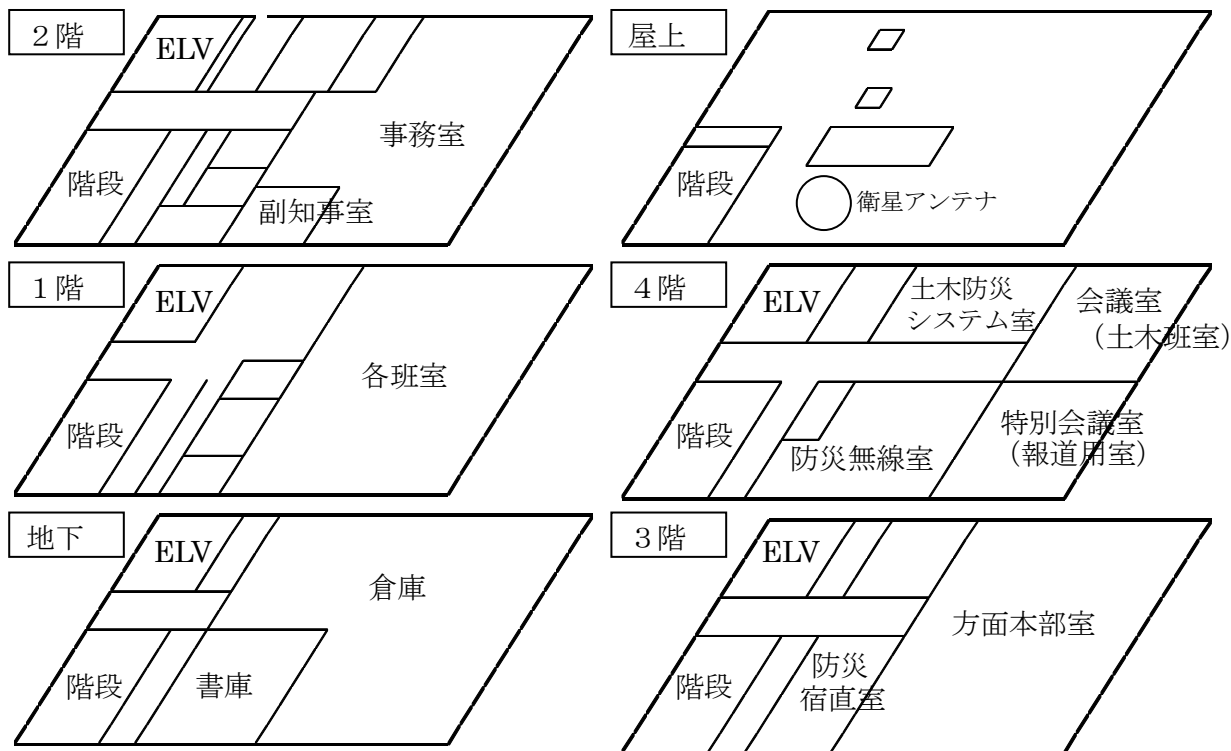
4 総事業費

15億6000万円

5 賀茂危機管理庁舎整備による危機管理上の強化ポイント

これまでの課題・問題点	賀茂危機管理庁舎整備による効果
<ul style="list-style-type: none">下田総合庁舎はL2津波浸水域内代替拠点（県立下田高校）と防災関係機関との連携（情報伝達手段）が脆弱賀茂地域主要路線が津波浸水域内地域全体が長期間の孤立の可能性	<ul style="list-style-type: none">海拔80mに庁舎施設整備方面本部の初動能力が大幅に向上賀茂地区の防災活動拠点（警察・消防・海保・自衛隊）内に所在防災関係機関との連携強化拠点ヘリポート（自衛隊等）隣接（空路活用による受援体制増強）伊豆縦貫道敷根IC（予定）至近（陸路活用による受援体制増強）

フロアマップ



3階方面本部室

